

ICTと音楽で展開する平和学習と起業家教育

～ベトナムと協働して、美加の台を世界平和の発信・受容基地に～

河内長野市立美加の台中学校

〒586-0044
大阪府河内長野市美加の台7-2-1

<http://academic1.plala.or.jp/mikachu1/>

1. はじめに

日本は、世界で唯一、戦争で原子爆弾が投下された国です。核兵器の被害で苦しむ人々のことを知れば、誰も戦争をしようなんて思わないと思います。日本は、人類の過ちを二度と繰り返さないように世界中の人々に平和の尊さを訴える義務があると思います。

一方ベトナムは、世界で唯一、戦争でアメリカに勝利した国でありながら、ベトナム戦争時に散布された枯葉剤の被害に現在も苦しんでいます。枯葉剤が原因と思われる障がい者は推定400万人以上といわれています。日本と同様、世界中の人々に平和の尊さを訴えていくべき立場の国です。

本校では、平成21年度からベトナムのグエン・ドクさん（元結合双生児ベトちゃんドクちゃんの弟）と継続的に交流機会を持ちながら、平和学習、国際理解学習を行ってきました。交流方法はテレビ会議システムを用いた遠隔授業形式を中心として、ドクさんから枯葉剤被害の現状などについて学んできました。



平成22年度には本校生徒会が中心となってベトナムの孤児院への募金、文具や衣類の寄付活動を行いました。そのお金と物品を教員が持ってベトナムのホーチミン市に渡り、直接に孤児院等へ届けました。平成23年度にはドクさんを本校や市内の2つの小学校に招待して、児童生徒たちが直接交流する機会を持ちました。また平成22年度より、本校教員とドクさんで作詞し、プロの作曲家が曲をつけた三部合唱曲「いつも僕の中に」を、生徒たちが平和への願いを込めて歌っています。

2. 研究の目的

今日の国際化が進む社会的状況を考えた時、日本人がいかにして海外の人々と手を携えていくかという問題があります。語学力やコミュニケーション能力の伸長が期待されていますが、子どもたちがそれらの能力を伸ばしていく際に“世界平和”をテーマとしながら、“起業家教育”の理念で教員が支援することは今日的教育意義を満たしていると考えています。

日本を代表する起業家である稲盛和夫氏（京セラ・第二電電の創業者、日本航空取締役名誉会長）は、「動機善なりや、私心なかりしか」と自問自答されるそうです。実行過程が善であれば、結果を問う必要はない、必ず成功するという信念を持っていらっしゃるようです。“大義”があるからこそ、実行する段階では思い切って行動できるという理論です。

本研究では、この理論に沿って“世界平和”の大義のもと、「どうすれば世界に平和を発信できるか」を子どもたちに考えさせることが根幹になります。教師が念頭に“起業家教育”の理念を持って、子どもたちに積極的に社会参画していくような姿勢を身につけさせることが目的となります。

3. 研究の内容と経過

“世界平和”という大義を掲げたこの取り組みは、おもに小学校高学年から中学生を対象として「ベトナム戦争」、「枯葉剤」、「結合双生児ベトちゃんドクちゃん」について知る機会を与えた上で、自分の考えを言語化させ（意見発表や感想文など）、積極的な平和に対する表現活動（音楽や美術や寄付活動など）へと結びつけています。

本校では、平成21年度から23年度までの三年間、ドクさんとの交流授業を行う毎にアンケートをとるなどして、ドクさんと協働した平和への取り組み内容を生徒とともに考えてきました。

具体的には、①ベトナムや枯葉剤のことをもっといろいろな人に知ってもらう、②“平和の歌”を作って広める、③ベトナムの困っている人たちに寄付をする、などです。これらの生徒たちからのアイデアはすでに実現していますが、まだまだ規模は大きくありません。そんな中で、平成23年11月19日にはドクさんを本校に招待し、地域住民も学校に呼びこんで、直接に講話をしていただきました。今後、これらの取り組みを本校に定着させ、さらに他校や世界のさまざまな国に活動の規模を広げていくことが平成24年度の課題でした。

そんな中で、楽曲「いつも僕の中に」を子どもたちがしっかりと歌うことと世界に広めていくことが課題解決の有効な方法としてとらえています。これについては、学校外の人材の協力も不可欠で、作曲家の石若雅弥さん、歌手のRUTH（ルース）さん[本名：リントン貴絵]、通訳者のファン・カック・テーさんに

も協力してもらっています。とくに「いつも僕の中に」を世界に広める手段の一つとして、英語版とベトナム語版の制作を考えました。ベトナム語版の制作については、ドクさんが昨年度に本校で全校生徒による三部合唱を生で聴いて感激したことから進展しました。ドクさんは、歌手であり俳優でもある“ベトナムの国民的スター”のグエン・フィ・フンさんに協力を依頼しました。フンさんは、日本の子どもたちがベトナムの枯葉剤被害に関心を持っていることに感動し、快諾してくれました。そこで今年度は、フンさんの活動と連携した内容が多くなりました。以下、表のような経過で取り組みを進めました。

	月 日	研 究 活 動 の 内 容	備 考
1 学 期	4/6	・ 2、3年生有志がドクさんとフンさんとテレビ会議交流。 制作途中の「Vi Một Th Giới Đẹp Tuổi」を聴く。	★ベトナム語版制作と並行して日本語版と英語版の音源制作をプロに依頼 *市内他校との連携 *1年美術科との連携 *ドクさんが主宰する慈善団体との連携
	5、6月	・ 1～3年生有志が「Vi Một～」のミュージックビデオで使う風の制作。また、ベトナム語で歌うシーンを撮影。	
	6/1-4	★教員2名が制作した風を持ってベトナムに渡り、ミュージックビデオ撮影にも参加する。	
	7/10	・ 「Vi Một～」の完成ビデオを全校生徒で視聴。	
	7/11-13	・ 生徒会活動で、ベトナムの孤児院への支援金と支援物資を募る。(市内2小学校にも呼びかけ、同様の活動を行う。)	
	7月～	・ 石若雅弥さんによる全校生徒への合唱指導。	
	7/28、29	・ 本校1年生全員がベトナムの情景を描いた絵画60点を、河内長野市人権協会主催「愛・いのち・平和展」で展示。	
8/3-7	★教員6名が支援金と支援物資を持ってベトナムに渡り、ドクさんとフンさんとともに孤児院へ直接寄付。		
8/5	また、ベトナム赤十字社が主催する「枯葉剤作戦を記憶する日51周年記念式典」と音楽番組「Khát Vọng Sống」に出演し、「Vi Một～」をフンさん、ドクさんらと歌う。		
2 学 期	9/3	・ 全校生徒が、教員からベトナムでの活動報告を受ける。	*校区小学校との連携 *地方の音楽祭との連携 *全国の教員との実践交流
	10/23	・ 美加の台中学校合唱コンクールで、全校生徒と美加の台小学校6年生との計270名で「いつも僕の中に」を合唱。	
	10/28	★歌手RUTHが、奈良県大和郡山市の「こおりやま音楽祭」のステージで「いつも僕の中に」を歌唱。写真展示も行う。	
	11/27、12/3	★独立行政法人教員研修センター主催の中央研修「中堅教員研修」実践交流会で、本研究について実践発表。	
12/4	・ 2年生66名が、道徳の時間に、ドクさんの活動やベトナムの現状について学ぶ。		
3 学 期	1/30	★河内長野市教育研究会「平和と国際理解部会」で、「ベトナムとの平和学習～取り組み4年目のひろがり～」と題して実践発表。	*市内教員へ実践発表し、市内学校間連携を呼びかけ
	2/8	★河内長野市教育委員会主催の新任教員研修会で「教師として自分ができること」と題して、本研究について実践発表。	

「・」…児童生徒の活動。「★」…児童生徒以外の活動。教員や関係者の活動。

平成24年度は春休みから、2、3年生の有志40名が、ドクさんとフンさんとテレビ会議交流を行いました。フンさんは日本で例えると福山雅治さんのような“国民的スター”で、 트렌디ドラマの主演を務める一方、歌とダンスも得意で音楽活動も盛んに行っています。また、慈善活動にも熱心であることから、ドクさんとは旧知の仲でした。そんな彼も、日本の子どもたちと会話するのは初めてで、ベトナムの枯葉剤について関心を持ってきていることにとっても感動していました。生徒たちが三部合唱で「いつも僕の中に」を披露した後、フンさんは制作途中の「Vi Một Th Giới Đẹp Tuổi」（ベトナム語版「いつも僕の中に」、日本語に直訳すると『美しい世界のため』）を聴かせてくれました。また、アカペラで「いつも僕の中に」を日本語で歌ってくださったので、生徒たちはとても嬉しそうにしていました。

5月は、フンさんから「Vi Một Th Giới Đẹp Tuổi」のミュージックビデオの制作協力の依頼があり、ラストシーンでベトナムの子どもたちが空に揚げる凧を作ることになりました。生徒たちに呼びかけると、土曜日にもかかわらず約30名の生徒が学校に来て世界の国旗をモチーフにしたデザインの凧などを作ってくれました。その凧を持って、教員2名がホーチミン市に行き、歌手のRUTHさんも合流して現地ロケに参加しました。帰国後、「日本の子どもたちが合唱するシーンも入れたい」というリクエストが届き、生徒たちに呼びかけました。日曜日にもかかわらず約40名の生徒が、ベトナム語で歌うシーンの撮影に協力してくれました。



6月末、「Vi Một Th Giới Đẹp Tuổi」の音楽とミュージックビデオがネット配信されました。

(<http://hn.nhac.vui.vn/vi-mot-the-gioi-dep-tuoi-clip258850c32.html>)

7月初旬にはフンさんとドクさんが、ベトナムのテレビ、新聞、雑誌等のマスコミに対して共同記者会見を開き、各種メディアで曲のことが取り上げられるようになりました。

(<http://vietnamnet.vn/vn/van-hoa/79560/nhu-ng-nguo-i-vi-mo-t-the-gio-i-de-p-tuoi-.html>) 全校集会で、生徒たちにベトナムのニュースと「Vi Một Th Giới Đẹp Tuổi」のミュージックビデオを上映すると、驚きながらもとても興味深く観ていました。

7月11日から13日にかけての3日間は、生徒会役員が中心となって、ベトナムの孤児院への支援金と支援物資を募る活動を実施しました。この活動は平成22年度に続いて2回目でしたが、前回は9,000円程度のだったが、



今回は27,735円も集まりました。衣類や文具などの支援物資も約30kg集まりました。この活動は、美加の台小学校と三日市小学校でも行いました。

8月3日から7日にかけて、市内教員6名がホーチミン市に行き、フンさんとドクさんらとともに現地の孤児院に支援金と支援物資を直接届けました。また、ベトナムでは1961年8月10日を“初めて枯葉剤が撒かれた日”と定めており、8月10日の前後には枯葉剤被害者を支援する催しがたくさん行われましたが、「Vi Môt ~」は、チャリティーソングとして適当であると評価され、ベトナム赤十字社が主催する「枯葉剤作戦を記憶する日51周年記念式典」と音楽番組「Khát Vọng Sống」に出演して、歌わせていただきました。とくにこの音楽番組はホーチミン市民劇場（オペラハウス）で、日曜夜8時にベトナム全国生中継されるという厚遇を受けました。歌唱中は美加の台中学校の生徒たちが出演したミュージックビデオがステージの背景に流されており、帰国後に報告を受けた生徒たちも大喜びでした。放映翌日にはベトナムの4大新聞の一つであるtuoi tre（トイ・チェ）が、「『美しい世界のため』～日本で作られた枯葉剤被害者のための歌～」と大きく記事にしてくれました。



(<http://talkvietnam.com/2012/08/song-for-vietnamese-dioxin-victims-to-be-promoted-in-japan/>)

2学期は、教員が全校集会で夏休みのベトナムでの活動を報告することから始まりました。それからは、音楽科や学活の時間を利用して「いつも僕の中に」の三部合唱練習です。今年度は小学6年生にも練習してもらい、10月23日に河内長野市立文化会館大ホールで開催した美加の台中学校合唱コンクールでは、全体合唱曲として約270名の子どもたちで合唱しました。

子どもたちが、楽曲「いつも僕の中に」に関わった今年度の活動はこのようなものです。

他には1年生が美術科の授業で描いたベトナムの情景を描いた絵画60点を、河内長野市人権協会主催「愛・いのち・平和展」で展示したりしました。また、写真を中心とした展示を10月27日、28日に奈良県大和郡山市の「こおりやま音楽祭」でも行いました。その後、大和郡山市長に「ぜひ『いつも僕の中に』を大和郡山市の学校でも歌ってください」と手紙を書き、楽譜と音楽CDを提供させていただきました。

4. 研究の成果と今後の課題

今年度は、グエン・ドクさんだけでなく、グエン・フィ・フンさんが協力をしてくださったので、ベト

ナムのマスコミが大きく取り上げてくださり、その結果、NHK国際放送ラジオや朝日新聞といった日本のマスコミも楽曲「いつも僕の中に」や“ベトナムとの平和学習”について取材をしてくださいました。おかげで、子どもたちは自分たちの活動は社会の事象と密接に関連している実感を持つことが出来ました。家庭でもベトナムとの平和学習の話題になることがあるようで、「先生、枯葉剤って、1945年に日本が原爆を落とされた時に降伏しなかったら、日本にも撒かれてたん?!」という授業で教えていないことまで質問してくる生徒が増えてきました。また、本校3年生は長崎へ修学旅行に行きますが、そこで平和記念式典を行う際に「いつも僕の中に」を歌うことが2年連続で定着してきました。校区の小学校もドクさんと交流しているため、美加の台に通う子どもたちにとっては、ベトナムはとても親しみやすい国になっています。これらの成果を来年度以降も続けていけるように、さらに子どもたちの積極的な関わりを引き出していきたいです。

今後の課題は、この活動のさらなる広がりや推進のためのネットワークづくりです。「Vi Một〜」は、ベトナムの音楽Webサイト「Nhac.vui.vn」では6月第4週のダウンロード数が第1位で、公開から約9ヶ月になる平成25年3月末現在では再生回数2万1000回を超えています。今後も毎年8月10日前後に歌われるようにしていきたいです。また、英語版「いつも僕の中に」で「Always Within Me」という曲がありますが、アメリカに住むベトナム帰還兵の家族らに枯葉剤被害者と思われる方が多数いるので、その方々に届けたいと考えています。

